

帯小の窓



帯広市立帯広小学校
Obihiro Obihiro
Elementary School
平成29年10月5日
NO16

学校力向上

「教育の成果を子どもの姿で示し 家庭・地域との信頼ときずなをさらに深める」

居心地のよい環境づくり

一気にみのりの秋へ

校長室の窓からいつも見えている大きなトチの木。20 cm ほどの大きな葉が手のひらのように五枚放射状に一つのチームになっています。このところの朝の低温で黄色から茶色に色づき、一部は落葉となっています。鈴なりだった実も次々と地面へ、急に秋の足音が大きくなったように感じます。

学校の中庭や校地の周りは緑に囲まれているのが常です。帯小は街中の学校ですが例外ではありません。9月19日（

火）台風18号一過の日、中庭には強風で落ちたマツカサがたくさんころがっていました。校地内を駆け回るエゾリスたちのために、そのままそとしておきました。

今年度は授業日204日（6年生は203日）ですので、103日目の10月2日（月）が、ちょうど1年の折り返しです。ですから、すでに後半の教育活動が進んでいることとなります。学校便りの月行事予定や学年の時間割をご覧ください。9月・10月の2か月、子どもたちがいろいろな施設へ出かけ、人と出会い交流し、体験的に視野を広めるという活動が多く計画されていることに気付かれると思います。より早い情報や画像はホームページをご覧ください。学校便りはそのスピードには十分に追いつきませんが、それぞれの教育活動の目的や成果なども含めて画像とともに、できる範囲で拾い上げてお知らせしていきますので、ご覧ください。



「帯広市適正規模の確保等に関する計画」意見交換

～帯小保護者対象～ **是非、ご参加ください！**

10月6日（金）19:30～

帯広小学校 2階 ふれあいルーム



平成30年度～39年度を前期5年・後期5年に区切った、前期分の計画の説明と意見交換です。12日の地域説明会を経て、計画推進の対象校が選定されます。

●農村地区を除く小学校の適正規模とは

通常学級 12～24 学級＋特別支援学級

とされ、人間関係の固定化や集団活動等の制約、職員配置数の減少などのデメリットを緩和することを目的としています。

●前期（～平成34年度）検討対象校

帯広小・西小・東小・清川小・広野小・愛国小・大空中・八千代中

※ご案内はお子さんに配布済みです。帯小が検討対象校になっています。是非とも参加いただき、説明を受けて、不明な点などご意見等いただければ幸いです！

子どもたちの毎朝の登校の様子を見ると、7:30ころにすでに玄関前で開錠を待つ子が数名います。7:45ころにはかなりの子が登校しています。上述したとおり、朝の冷え込みも少しずつ厳しくなっていますので、早すぎるときは、お子さんに一声かけてください。



2日（月）7:45ころ



児童玄関は午前八時に開きます！
適当な時刻に家を出るように声かけをお願いします！

教師力を向上させるために

～外部講師を招いて先生方が研修～

教師力UP研修2

先生方にとっては、日々の教育活動自体が貴重な学びの場であるのですが、社会の変化はめまぐるしく、そんな社会を生き抜いていくための力は、時代を経ても変わらないもののほかに、新たに求められるものも多くあります。将来を生きる子どもたちをイメージしながら、指導支援にあたっていく必要があります、そのための勉強が必要になってきます。

8月末の研究発表会前には、道徳科の実践家であり、エキスパート教員の木原先生（鳥取市立世紀小学校）から道徳科の授業実践や評価、授業作りを中心に学ぶことができました。

9月25日（月）には、上越教育大学大学院の大場教授にお越しいただき、ホワイトボードミーティング（小さなホワイトボードを活用した小グループの意見交流など）や平成32年度からの外国語・外国語活動への準備や考え方についてワークショップ的に学ぶことができました。主体的で対話的な深い学びに通じる要素もありました。

大場 浩正 教授
対話を大事にして、とにかくまずやってみる、というのが先生のコンセプトでした。外国語の指導でも確かに大事なことです。



プレゼンテーションの手助けになるミニホワイトボード、見えることで共感と承認を得ることが出来る。

外からの力を子どもたちの力に

・新鮮な学びと驚きと気づきを生み出す・



9月27日（水）2年
お話の世界を楽しみましょう
よう 納村克子さん



4年 タイ ナムウォン・ポンコットさん



国際交流員訪問



2年・3年 アメリカ
（ハワイ）レ・イレインさん

外部講師授業

子どもたちに本物を体験させたり、社会人として様々な経験をもつ学校外の方の体験や考え方にふれることは、教科書からは得られない感動や気づきを生みます。「国際交流員訪問」や「外部講師授業」・「かけはし活動の地域施設訪問交流」・「帯広市絆支援事業」には、そのような効果もあります。また、教室学習や学校生活で得た知識や技能、表現力や思考力を活用・応用する場として、「学校での学び」を豊かにするきっかけにもなります。

これから、「かけはし活動」も各学級で行われ地域の施設へ子どもたちが出かけます。



3日（火）4年 防災教室
市役所 佐藤文則さん



1年 中国 ミオ・スジンさん